

## 干渉波(干渉電流型低周波)治療器

今回は、物理療法機器の第4弾として干渉波治療器をご紹介します。

干渉波治療器とは2組の導子を用いて2種類の異なる電流を交差させ、そこから発生する干渉低周波を使用する治療器です。周波数の異なる電流を体に流すと、それらが体の深部でぶつかり低周波の刺激が発生します※図1。電流同士が相互にぶつかり合い干渉することから干渉波とよびます。干渉波によって作られた低周波は、体の深部まで届き体の奥の痛みを和らげたり、血行の促進をしたり、麻痺して乱れた神経に作用して神経の正しい伝達を促します。

施術中は痛みもほとんどなく、リズムカルな刺激でもまれているような心地よさがあります。しかし、人によっては干渉波治療を行った後に吸盤の丸い跡が残る場合があります。これは、その部位の血行が悪く、血液が停滞している状態です。

2～3日経てば消えますので、ご安心ください。

干渉波治療器をご希望の方はまず診察にてご相談ください。



※図1

